

2015年1月1日  
テオリア第28号

定価 350円  
毎月10日発行  
定期購読料 年間 4000円  
半年 2000円

郵便振替口座 00180-5-567296研究所テオリア

# θεωρία テオリア

発行 研究所テオリア  
東京都千代田区内神田1-17-12  
勝文社第二ビル101  
TEL&FAX 03-6273-7233  
ホームページ  
http://theoria.info  
E-mail: email@theoria.info

## 「敗戦70年」をとらえかえす



何が問われているのか

2015 新年座談会

### 自民大勝と

### アベノミクス幻想

#### 期待・幻想が続くのか

司会 2014年12月14日の総選挙で安倍自民党が大勝。2015年11月敗戦70年を戦後の平和・民主主義を否定する政権で迎え、安倍政権がさらに続く。さまざまな点で厳しい状況が予想される。安倍政権の検証から話していきたい。

最初に取り組んでいる課題などをお話したい。

千田 私の専門は家族社会学。1920年代に近代家族ができ、90年代に入ってきたようにゆらいだきたかを研究している。家族研究は家族だけ見ていられない。家族の変化は雇用の変化が大きい。

松野 僕は、職場でも地域でも人権を柱に活動してきた。東芝府中人権裁判、98年に始めたチマチヨゴリ友の会(チマ友)。朝鮮半島で何かがあるたびに、朝鮮学校に通う子どもが嫌がらせにあう。社会運動をやっている人でも、「朝鮮学校支援」をためらう人もいた。

もうひとつは府中緊急派遣村。08年日比谷派遣村は現代の縮図として注目された。しかし、日比谷派遣村は解散。これを、地域で日常化する自覚で始めた。最

る。司会 自民党大勝という選挙結果だが、選挙制度の問題や安倍のたまし討ちなどもアベノミクスに対する批判が小さくはないのに、な(2面へ続く)

#### 座標塾第11期 (2015年1月~3月)

第1回 「戦後日本」とは何であったのか 1月16日(金)

第2回 戦後日本の左翼、反省と再生 2月20日(金)

第3回 人口減少社会と脱成長 3月13日(金)

講師 松井隆志(第1回)、白川真澄(第2、3回)

時間 午後6時半~9時

会場 文京シビックセンター(予定)

参加費 通し2500円(会員1500円)

1回1000円(会員500円)

要申込

連絡・申込先 研究所テオリア

03-6273-7233

email@theoria.info

#### 国連・憲法問題研究会講演会

#### 日本軍「慰安婦」問題

何が問われているのか

梁澄子(日本軍「慰安婦」問題解決全国行動共同代表)

2月7日(日) 午後6時半~9時(6時15分開場)

文京区民センター3階C会議室

#### 紙面紹介

新年座談会「敗戦70年をとらえかえす 何が問われているのか」

白川真澄・千田有紀・松野哲二 1~5面

集団的自衛権行使のフタ 浅井基文 6~7面

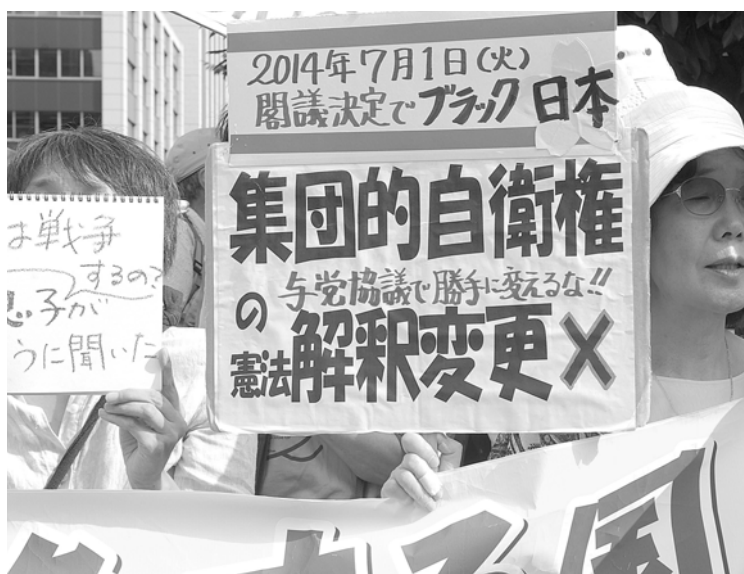
三里塚 7面

慰安婦問題―「奴隷制」であるとは(下) 8面









力はあるにや。まじめにやっている人は救済されて当然だけれど、そうでない人は切り捨てられても仕方がないにうなずく。それから、どういう風に逃れることができるのか、難しさを感している。

あるかもしれないが、スタスタに引き裂かれている。同じような労働をしているも違う状況。どのような雇用形態を取れたかの幸運さだけに大きく依存している。たまたま正規職をゲットできた人は幸運。取ることができた雇用形態で取り返しがつかない格差。非正規は一生働いても生涯賃金7千万円。正規の生涯賃金は3億円。これは何なのという怒りが渦まいている。

最近ではマタニティマークを着けるのが危険だという話がある。着けていると押されたり、危害を加えられることがある。怖くて着けられない。妊娠できること自体が、恵まれた状況になっっているから。正規公務員は育休がある。しかし、派遣とかで働いている女性たちは同じように働いて半分以上しかもらえない上に妊娠を告げると雇い止めさ

れる。妊娠したら雇ってもくれないと妊娠自体をためらう。今までのみんなが結婚する社会は、良い悪いは別に結婚して子どもを持つことが普通の暮らしだと思ってきた。でもパートナリーを見つけることも難しくなってきた。パートナリー探しの可能性も、雇用形態と関係していないわけはない。だから、妊婦を見ると、幸せそう、恵まれたことをしていると羨ましくなる。いろいろ分断されている。

2020年女性管理職30%の数値目標も絵に描いた餅。お金がかかるから「三歳まで抱っこし放題」で、3歳までは女性がやれと「女性活用戦略」が馬脚を現したのは9月改選での女性閣僚。数値目標で5人登用されたが、女なら誰でもいい訳ではない。しかも、法的な夫婦別姓に反対している山谷りこや高市早苗が、実際には自分たちは通名を使っている。

白川 第二次安倍政権は格差政策が全くない。第一次政権は格差を広げすぎた小泉政権の後だから、再チャレンジとかいい加減なものだった。格差は正に取組まざるを得なかつ

た。第二次政権の5回の施政方針演説・所信表明演説で格差に触れたのは、格差固定化はいけないという一度だけ。そのうち滴り落ちるから、幻想を持って待ちな

なくならたりして何のメリットがないから断る。男性はもっと上にいきたいというのがある。でも同期の公助・自助とか、高福祉高負担とか出しきれていない。

白川 好むと好まざるに関わらず、男が稼げなくなっているわけだから、女性も働かざるを得ない。働きたくなくても働かざるを得ないという意味では就業率は高まる。

千田 まったくです。専門主婦希望が増えているのが保守化だといわれている。保守化ではなく、自己実現のために働きたいと思っていた上の世代と違って働かざるを得ないが、こんな状況で働きたくない。専門主婦になれるというところは、豊かな暮らしを象徴している。

松野 自民党の主張は、女性には家庭に帰れ。家庭Ⅱ国家。主婦願望とマッチングする。

千田 そりゃ、いないですよ。市役所、教職員などで女性に管理職試験を受けてくれといっても、大変な実態を知っている。残業代が

白川 第二次安倍政権は格差政策が全くない。第一次政権は格差を広げすぎた小泉政権の後だから、再チャレンジとかいい加減なものだった。格差は正に取組まざるを得なかつ

た。第二次政権の5回の施政方針演説・所信表明演説で格差に触れたのは、格差固定化はいけないという一度だけ。そのうち滴り落ちるから、幻想を持って待ちな

く。白川 第二次安倍政権は格差政策が全くない。第一次政権は格差を広げすぎた小泉政権の後だから、再チャレンジとかいい加減なものだった。格差は正に取組まざるを得なかつ

た。第二次政権の5回の施政方針演説・所信表明演説で格差に触れたのは、格差固定化はいけないという一度だけ。そのうち滴り落ちるから、幻想を持って待ちな

## 「女性活用」戦略の危険性

## 分断・孤立・貧困

## 脱成長を豊かに生きる

ポスト3・11の社会運動

白川 真澄 著

世界的なシステムの歴史的な危機のなかで、成長神話に挑み脱成長の社会像を探り、国境を越える民衆運動の同時代的課題を問う社会変革へのアクチュアルな提言

2400円十税  
四六判256頁／2014年10月30日刊  
社会評論社  
※研究所テオリアでも扱っています。

と憎しみをぶつけられる。本当にひどい。

してビジネスをまわそうと。そこで働いている人たちはどういう待遇で働くのか。どういう水準で福祉の水準が保たれるのかとかいう話では全然なくて、福祉をサービス業として株式会社化しよう。本当に世知辛い。

白川 横浜方式はそう。千田 それなのに横浜では待機ゼロになったとほめ称える。司会 ひどい待遇で働いているから、虐待などの問題が出てくる。白川 低い待遇だからやめ

松野 僕は、東芝府中人権裁判の闘いで、日本型経営の打破をめざした。その時代は生協運動が拡大して新しい構造をつくるだろうと思っていた。しかし、依然として企業中心社会。グローバル化した巨大企業のみが利益を享受する。それでも、働き方や生活の構造を地域や草の根の力で、もうひとつの魅力あるものに変えてゆけませんかというのが、白川 若い人は非正規でひどい状況。正規になっても残業残業。どちらもどうしようもない。

先日、区議選に出るといって若い人の話を聞いたら、自分でシェアハウスを営んでいる。区と交渉して、仕事を紹介させて、若い人のつながりができている。

松野 僕は、東芝府中人権裁判の闘いで、日本型経営の打破をめざした。その時代は生協運動が拡大して新しい構造をつくるだろうと思っていた。しかし、依然として企業中心社会。グローバル化した巨大企業のみが利益を享受する。それでも、働き方や生活の構造を地域や草の根の力で、もうひとつの魅力あるものに変えてゆけませんかというのが、白川 若い人は非正規でひどい状況。正規になっても残業残業。どちらもどうしようもない。

先日、区議選に出るといって若い人の話を聞いたら、自分でシェアハウスを営んでいる。区と交渉して、仕事を紹介させて、若い人のつながりができている。





司会 格差と分断から、安  
なっているのが敗戦70年  
倍のようなナショナリス  
日本状況。  
ム、排外主義への支持と  
松野 共通の目標がなく

分断され、みんなイライラしている。極端に言えば、攻撃目標は誰でもいい。例えば野宿の人に石を投げるなど身近なものにどんなものがあるか。元々あった自民党の改憲路線とアメリカに物が言える自立した帝国主義というので、「普通の国」になる。選挙で3分の2とって改憲へということになる。千田 皆、戦争がいやだという気持ちはある。安倍がうまいと思つたのは、近諸国が攻め込んでくるかもしれないから「平和を守るために軍隊が必要だ」という倒錯。軍隊があるから、平和でなくなるの。軍隊を持つことによる危険性と集団的自衛権を行

用すること、これまでの使ってきた諸外国との関係自体が揺らいでいる。日米関係の変化も大きい。日本の重要性が低下しているから。松野 サンゴ密漁に多数の中国船が押し寄せきて、撃沈しろという声が若者から出てくる。まるで江戸時代末期の外国船打ち払いと同じような状況。自民党大勝を見ると、天皇を再び前に出し、明治憲法が生まれ

る下地と同じものを感じ司会 先ほど言われたような妬みのような意識がヘイトスピーチ、ネトウヨが跋扈している状況と結びついているということでしょうか。千田 昭和のナショナリズムは、従軍慰安婦はいたとか侵略はしたんだろなどと

思いつつ、あえてこちらに賭けるというタイプのナショナリズム。でも、今の若い世代を見ると、韓国が頼んだから植民地にしてあげて学校作って鉄道を引いてあげたんだから文句言われる筋合いはないと、本気で思っている層がいる。ネットも大きいかもしれないが。本気で自分たちが不当な目にあっていて信じているナショナリズムの危険性は昭和のナショナリズムと違う。今の若い世代は、韓流ブームもあって韓国に憧れも持っている。文化による敵対関係の雪

解けという点ではヨン様はすごい。テレビドラマにてんなに力があるんだと希望を感じた。だから、錯綜している。司会 「在特会」の分析では、メンバーには一流企業の会社員もいて、社会一般と変わらない。浦和スタジアムでジャパニースオンリーと掲げたサポーターも県職員。そういう空気が安

く感じる。松野 そういう連中に安心感を与えているのが日本の政治であり、マスコミ。自分たちは正しいことをやっている、これを発信している。松野 チマ友では、地域の日本市民を対象としたハン

グル講座やキムチ頒布会を日常化し、毎年秋には府中市内の大きな公園で朝鮮文化とふれあつたといふフリーマーケットを開催し、朝鮮学校の子どものための文化公演などたくさん賑わいを見せている。民衆レベルで仲良くつなげていくというのを意識的にやっていたいかならないか。白川 世論調査で中国が嫌いな人が9割。中国でも日本嫌いが9割。かつては中国好きが多く、中国に悪いことをしたと思つていた。今は異様な状況。どうやっ

# 「敗戦70年」に問われる 歴史意識と若者

増えれば充足感がある。彼らにそれだけの思想があるわけではない。よりどころはインターネット、漫画、安倍政権の発言。それで安心感を得ていく。京都朝鮮学校襲撃事件は民主党政権成立直後。民主党政権は直後に高校無償化から朝鮮学校を排除。ヘイトスピーチに政権がお墨付きを与えた。そして、政権が排除するのだからコリアタウンでのデモへと広がっていった。京都の特

有罪確定に続き、朝鮮高校生の授業料無償化からの排除を許さない「無償化裁判」も国を有罪にしなければいけない。白川 高校生など若い世代でそういう考え方をしている人が多い。メディアなどの言説が客観的「事実」なるものがあつて、どちらの事実が正しいかという立て方をしている。

しかし、被害を受けたという女性が名乗り出でて、まずそういう証言に耳を傾けることから始めないといけない。そこまで話すと、若者も理解できる。みただが、想像力が枯渇して、日本の外に向かない。それが若い人たちの歴史認識を妨げている。千田 戦争体験者、ハルモニも亡くなっていく。教えている学生でもジェンダー差を感じる。男子学生は北朝鮮どころか、中国は危険、韓国も危険という感じ。経済的に日本が没落していつかという自覚

がある。海外に行っても、以前はあれほど日本人しかいなかったのに、今は中国人しかいない。平日にデパートに行っても中国人しかいない。これまで日本の繁栄に余裕があったのだから中国が経済的に繁栄していくという「脅かされ感」のようなものがある。それで領土問題で自分のアイデンティティを確認する。そういうところで男子学生はいきがってしまふ。女子学生はそういうことは言わない。聞いてみると韓流ドラマやKポップのファンが多い。『どうしてあ

い女性が多いのか分らない』と聞けば言うが。表立って言うことは危険だと思つている。おぼさんは韓流ブームで若い女性はKポップ好き。どうして日本の女は韓国の男が好きなんだという脅かされ方がないとは思われない。男子と女子でアジアへのシンパシーの差が大きい。白川 日本は没落しつつあるという危機意識は強い。中国を抜き返してGDP2位に戻ることが絶対にな

い。白川 日本は没落しつつあるという危機意識は強い。中国を抜き返してGDP2位に戻ることが絶対にな

る。継続しているのは介護労働者の解雇。生活困窮問題は労働問題であると同時に、相談相手がない孤立の問題。行政が市民相談をやっているが、孤立して行けない人がたくさんいる。白川 若い人たちには発信されていないし、誰に聞いたらいいのかわからない状況。松野 若い人だけでなく、老人も孤立している。福祉の対象になる人は公的な介護がつく。センターも各地にある。健康で公的支援の

対象にならないが、地域では生活の目標がなく、孤立している人が多い。アルコール依存、ギャンブル依存で高齢化していく悲惨。アベノミクスでそれは課題になっていない。相談者の多くは、先ず学校からはじかれていく。なんとか働いても底辺労働。地域でも福祉から排除され、結局、アルコールやギャンブルで憂さをほらし気がつけばホームレスになっている。

司会 先ほど言われたような妬みのような意識がヘイトスピーチ、ネトウヨが跋扈している状況と結びついているということでしょうか。千田 昭和のナショナリズムは、従軍慰安婦はいたとか侵略はしたんだろなどと

思いつつ、あえてこちらに賭けるというタイプのナショナリズム。でも、今の若い世代を見ると、韓国が頼んだから植民地にしてあげて学校作って鉄道を引いてあげたんだから文句言われる筋合いはないと、本気で思っている層がいる。ネットも大きいかもしれないが。本気で自分たちが不当な目にあっていて信じているナショナリズムの危険性は昭和のナショナリズムと違う。今の若い世代は、韓流ブームもあって韓国に憧れも持っている。文化による敵対関係の雪

解けという点ではヨン様はすごい。テレビドラマにてんなに力があるんだと希望を感じた。だから、錯綜している。司会 「在特会」の分析では、メンバーには一流企業の会社員もいて、社会一般と変わらない。浦和スタジアムでジャパニースオンリーと掲げたサポーターも県職員。そういう空気が安

く感じる。松野 そういう連中に安心感を与えているのが日本の政治であり、マスコミ。自分たちは正しいことをやっている、これを発信している。松野 チマ友では、地域の日本市民を対象としたハン

グル講座やキムチ頒布会を日常化し、毎年秋には府中市内の大きな公園で朝鮮文化とふれあつたといふフリーマーケットを開催し、朝鮮学校の子どものための文化公演などたくさん賑わいを見せている。民衆レベルで仲良くつなげていくというのを意識的にやっていたいかならないか。白川 世論調査で中国が嫌いな人が9割。中国でも日本嫌いが9割。かつては中国好きが多く、中国に悪いことをしたと思つていた。今は異様な状況。どうやっ

る。白川 日本は没落しつつあるという危機意識は強い。中国を抜き返してGDP2位に戻ることが絶対にな

い。白川 日本は没落しつつあるという危機意識は強い。中国を抜き返してGDP2位に戻ることが絶対にな

## 自己実現の場がない

松野 若者でも老人でも自己実現の場がない。学生だって、香港のような闘いをするのは日本にはない。在特会では自己実現の場を提供している。みんなパソコンを見事に使っている。動画を駆使している。司会 左翼だって在特会より多い人数がいるはずだが、あれだけの影響力を持ってない。千田 思ったが、在特会に集まっているような人たちがさびしい人たちがあつて、それがうまくつながらない。在特会、ピクニックに行くような感覚でヘイトデモをして、それを撮影して世界に発信して楽しかったねとやっている。雨宮処凛が右翼だったのが左翼に来たように、あのエネルギーを違うほうに水路付けすること

## 若い世代の歴史意識と脅かされ感

千田 歴史修正主義の新しい歴史教科書が横浜市の一部や東京都の中高一貫校で採択されている。私立にいけない層では中高一貫校の

## 民衆のつながりをどうつくるか

松野 チマ友では、地域の日本市民を対象としたハングル講座やキムチ頒布会を日常化し、毎年秋には府中市内の大きな公園で朝鮮文化とふれあつたといふフリーマーケットを開催し、朝鮮学校の子どものための文化公演などたくさん賑わいを見せている。民衆レベルで仲良くつなげていくというのを意識的にやっていたいかならないか。白川 世論調査で中国が嫌いな人が9割。中国でも日本嫌いが9割。かつては中国好きが多く、中国に悪いことをしたと思つていた。今は異様な状況。どうやっ

## 若い世代の歴史意識と脅かされ感

千田 歴史修正主義の新しい歴史教科書が横浜市の一部や東京都の中高一貫校で採択されている。私立にいけない層では中高一貫校の



ことははっきりしている。そのことはいらだつ。千田 そういのはある。韓国も中国もグローバル化に対応している。日本は植民地化されなかった。高度経済成長とバブル経済が起ったが、今後は世界経済の中でしぼんでいく。植民地にしてきた国がものすごい経済成長を遂げ、自分たちを脅かしているという感覚をすごく持っている。

すごく不思議なのは、それで欧米に目がいっているのかということ。第二外国語選択では9割が中国語か韓国語。似ているし、旅行に行った時も役に立つという。目は欧米とかには向かないで、伍して戦っていかうという気もない。しかし、連帯しようという気もな

司会 歴史認識にならない。人間として日本人として、最低限、侵略の歴史を知らないといけないというのがない。サンゴ密漁問題や靖国問題から入るみたいなの。日本がアジアに対してどうして来たのかという歴史の重層的な問題を考える構えが社会の中になくなっている。

千田 その通りです。在特会が典型。他の外国人に比べて、朝鮮人・韓国人は特権を持っていると彼らは考

い。もの見方が狭い。東アジアの中の覇権争いに目がいっている。どういう構造の中で、そういう覇権争いが起きているのかというところに考えが及ばない。白川 バブルの後に生まれた世代が20代。この世代は日本が没落した時代しか知らない過程で生きてきた。だから、上の世代と比べると、経済成長に幻想は持っていない。だから、日本が落ちていくことを意識するにも世代差があるのでは。

千田 知らないから、成長幻想はない。自分が出世したいというのもない。けれども、歴史認識は違う。おじいちゃんが大陸で何をしたかを何となく聞いて育った世代と違って、中国や韓国は歴史問題で難癖をつけてきていると本気で思っている。落差がある。

える。フランスのアルジェリアに対する植民地処理など、他の植民地宗主国と比較すると、在日の人たちが持っている権利はきわめて小さい。そういう当たり前のことに思い至らない。

日本に住んでいる他の外国人に比べると、「朝鮮人はかり特権を持っている」と、解らない世代が本気で信じている。

松野 秋のつどいが新聞に載って80代の女性から電話がかかかってきて、戦後ずっ

出る。

### 反省しない政治文化

と日本名で生きてきたが、やはり朝鮮文化に触れてみたいと。ご案内して、民族衣装試着撮影コーナーで、撮影した写真を手に、「冥土の土産」と涙を流していた。日本の戦後責任を痛感した。戦後日本に同化せざるを得なかった人たちが多い。そういう人たちこそ、日本人の原罪として支援しなければならぬ。「特権」どころじゃない、日本名にならなければならぬ。学校でいじめられ、仕事に就け

戦をやっていたら、それが横につながり、グローバルと対極にある草の根の国際化につながっていくと思

もう一点、僕は高木仁三郎さんに三里塚で出会った。そこで学んで、東芝で反原発運動をやってきた。高木さんはこれが正しいと反省しないでやってきたのが原子力の世界だと言っていた。自分は反省したから、今があるとも。

福島を全く反省しないで、もう再稼働だ。3・11後、何が変わったのかという議論をするときに、反省がないというところから議論しないといけない。復興復興ということ、また国家依存・行政依存・官僚

### ビジョンを考える

千田 今の学生はバブルの時代を知らない。アベノミクスでわいているのは40代以上。ノスタルジーでもう一度日本の繁栄を取り戻したい。若い人は当時を知らない。若しくは、まったりとんびり自分の身の丈で生きていけばいいというメンタリティを持つことができて

松野 国内でいろんな課題を持った人たちが手一杯になっているところ、知識人、活動家も横につながっている。

「国連人権勧告の実現を！」実行委員会は、朝鮮学校への適切な財政措置を



域からもオモ二たちからも胡散臭いと見られた。民族やっている。継続して陣地

千田 今の学生はバブルの時代を知らない。アベノミクスでわいているのは40代以上。ノスタルジーでもう一度日本の繁栄を取り戻したい。若い人は当時を知らない。若しくは、まったりとんびり自分の身の丈で生きていけばいいというメンタリティを持つことができて

松野 国内でいろんな課題を持った人たちが手一杯になっているところ、知識人、活動家も横につながっている。

「国連人権勧告の実現を！」実行委員会は、朝鮮学校への適切な財政措置を

一人近くは非正規。友人が応援に来ているが、彼も非正規。若者の働き方の問題を中心に訴えているが、反応がいい。まだまだ捨てたものではない。

これだけ地方消滅が叫ばれているが、一方で若い世代で地方に移住して地域を再生しようという「田園回帰」の流れが強まっている。島根県などでは若い世代の流入が増えている。松野さんが言われたように地域からどう創るかが基本。そういう動きが絵空事ではなく、広がっている。ただし、大都市でどうするかは課題。若者にとって住居費がたまらない。それで、シェアハウスや団地の空き部屋に若者を住まわせて高齢者の見守りをさせたりする実験も始まっている。

千田 若者は保守化している。若者は成長しなげばならないというのが崩れるのはいいこと。できることの中でやりくりしていくのを出発点にしていくべき。それを前提に年金や雇用も作らないといけない。

若い人たちのつながり方に希望を持つところはあって、できる範囲の中でやれることをやろうと。シェアハウスの話が出ていたが、こういうつながり方にある種の希望を見出している。

非正規の問題でいえば、正規・非正規の格差があまりにも激しすぎる。正社員も非正規も疲れ果てている。オランダみたいに同一

労働同一賃金ならば、それなりに働く時間や質を選べるように変わっていく。私たちが自身がどうい社会がほしいかのビジョンをきちんとして持たないとダメだと思

う。経済成長すれば全てがインフォメーション

2015年三里塚反対同盟旗開き

1月11日(日)正午/横堀農業研修センター/三里塚芝山連合空港反対同盟(世話人:柳川秀夫)

国連・憲法問題研究会報告第60集

集团的自衛権で「殺し殺される」自衛隊へ

解釈改憲が戦争につながるカラクリ

清水 雅彦

定価 500円

研究所テオリア論集2

脱成長・脱貧困の社会ビジョン

脱成長・ダウンシフト

高坂 勝

日本の貧困構造とベーシックインカム

堅田香緒里

定価 600円

研究所テオリア

研究所テオリア入会費

○特別会 員・10年6万円

○研究会 員・10年1万2千円

○サポーター会 員・10年間6千円

新聞テオリア定期購読を

研究所テオリア入会以外に新聞テオリアの一般購読もできます

一般購読定期購読料金

年間 4000円/半年 2000円